

木下矯正歯科のホームページをご覧ください。前に必ずご一読ください。矯正歯科治療についてのリスク、注意すべき点、副作用について記載しております。

当院では初診相談時にお話し、治療契約時に同意書として交わす内容となります。どこの歯科医院で治療を受けたとしても、どの歯科医師が治療を行なったとしても起こりうる事柄となります。

(1) かなりの確率で生じる事柄

- ・ 矯正装置を装着することによって、きれいにハミガキができない、または、しづらくなります。それにより、**ムシ歯になるリスク、ハグキが腫れるリスク**が生じます。
- ・ 歯を移動させる時、歯の根（歯根）をつつむ膜（歯根膜）に軽度の炎症が起こり、**痛みが生じます**。個人差はありますが通常はごく軽度の痛みで、力を加えてから数日から10日前後で消失します。
- ・ 歯の移動については個人差があり、それぞれの歯によっても差があります。**治療の期間などは一概には言えず**、また、診断時でも正確には判りかねます。
- ・ 歯を動かしたのちに、その歯を**完全に元の場所に戻すことは不可能です**。
- ・ 矯正歯科治療で**歯の形を変えることはできません**。正常な形をしていない歯の場合、理想的な咬み合わせを矯正歯科治療のみで確立することはできません。
- ・ 歯を並べ終わったのちに保定を行い安定させる必要があります。保定装置は取り外し式のものを使用します。**装着を怠ると後戻りの原因になります**。
- ・ 保定終了後、**歯が一生その位置から動かない保証はありません**。矯正歯科治療では装置による力の作用で歯が動きます。保定後、歯に外力（舌の圧力や外部からの圧力など）により歯が移動することはあります。また、加齢や歯周疾患で歯の位置が変化することはあります。

(2) 通常起こる可能性がある事柄

- ・ 矯正歯科治療で**来院ペースを守ることは重要です**。来院間隔を自己都合で伸ばした場合、**治療期間に影響を及ぼすことがあります**。
- ・ 矯正歯科治療では、**患者さんの協力が必要になります**（取り外し式装置の装着時間や、自分で着け外しするゴムなど）。協力度によっては**治療の仕上がりや期間に影響が生じます**。
- ・ 治療途中で**予想外の成長発育などにより診断時の治療計画を変更しなければならないことがあります**。この場合、当院では、その経緯と理由をご説明し、ご承諾を得た上で治療計画の変更を行います。
- ・ 歯の移動では**ごく微量の歯根吸収（歯根が短くなること）が生じます**。歯が弱くなるレベルではありません。（後述の例外は除く）
- ・ 歯の移動により**ハグキが痩せてハグキのラインが下がる**ことがあります。

(3) 確率は低いが起こりうる事柄

- ・ 装置などが外れた時、**誤って飲み込んでしまうことが考えられます。**
- ・ 装置を外す時に、**歯の表面に細かい傷や微細なヒビ割れが生じる可能性があります。**また、治療前に入れられた補綴物（被せ物や詰め物）が破損したり、新しい咬み合わせに不適合な状態の場合、**作り直す必要が生じる可能性があります。**
- ・ 治療中に「口が開けにくい」などの**顎関節症の症状が出る場合があります。**
- ・ 治療で使用する金属などにより**アレルギー症状が出る可能性があります。**検査時の問診票には正確にお答えください。

(4) ごく稀に起こり可能性のある事柄

- ・ 歯根が周りの骨と癒着している場合、**歯が動かない可能性があります。**この場合、外科的アプローチが必要になる可能性があります。
- ・ **異常な歯根吸収が生じる場合があります。**技術的な問題を除いて原因不明のものも報告されています。
- ・ 歯の移動時に歯根の先端にある細い穴から出入りする血流が不足し**歯髄（歯の神経）が障害を受けて壊死する可能性があります。**